



新型コロナウイルス感染症禍における災害時の避難「知っておくべき5つのポイント」について

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。

この度、避難の際に知っておくべき5つのポイントをまとめましたので、ハザードマップ等と併せて平常時から確認してください。「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう。

知っておくべき5つのポイント

- 避難とは『難』を『避』けること。安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、小中学校・公民館等の指定避難所ではありません。
安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- マスク・消毒液・体温計が不足しています。できるだけ自ら携帯してください。
また、感染症対策のためにスリッパ等上靴も併せて携帯してください。
- 災害の状況により町が指定する避難場所、避難所を変更・増設する場合があります。災害時には、町ホームページ等で確認してください。
- 豪雨時の屋外の移動は車も含めて危険です。やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認してください。

今のうちに、
自宅が安全かどうかを
確認しましょう！



ハザードマップ 検索

